

■事業の概要

1. 管理運営全般

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

令和元年度において、理事会を7回、評議員会を6回開催しました。

(2) 監査の実施状況

ア. 監事監査

監事は、令和元年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成24年度より中間監査を行っており、令和元年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

イ. 監査法人による会計監査

令和元年度において、監査法人彌榮会計社による監査が14日間に亘って実施されました。

ウ. 内部監査

平成30年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および令和元年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について内部監査委員による内部監査を行いました。

また、令和元年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）の帳簿と証憑についても同様に内部監査を行いました。

(3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、令和元年度においても学園の将来構想について検討を行ってきました。

2. 大学・大学院

(1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、入学生の質的および量的な確保のため、積極的な広報活動に取り組んでいます。重点施策として、オープンキャンパスの動員強化や資料請求者に対するきめ細かいフォローにつとめました。2020年度入試については、入試制度変更を目前に控えて受験生の進学行動の早期化や安全志向の高まりの影響が色濃く表れて、推薦入試などの年内入試では3.6%の増加となったものの、一般入試での減少が大きく、全体としては6.3%の志願者減（第1志望のみ）となりました。

受験生の視点に立ったWeb広報の強化のため、受験生応援サイトの開設と大学サイトのリニューアルを行うとともにSNSを利用して、入学試験、オープンキャンパスに関する情報提供のほか、教員の研究活動、学生生活に関する情報発信を行いました。

また、高大接続改革が進む中で大学入学者選抜には「学力の3要素」を多面的・総合的に評価す

ることや、教育理念やアドミッションポリシーに沿った入学者選抜を行うこと等が求められています。本学においても入学後の状況に関する追跡調査や出願動向などの分析結果を踏まえて、2021年度以降の入学者選抜の基本方針を定め、公表しました。

(2) 理学療法学科及び作業療法学科の教育課程変更の準備作業

2018年10月5日に指定規則が改定され、2020年度の入学生から適用となる標記2学科について、10月に文部科学省へ教育課程等の変更申請・届出書を提出し、2020年1月に受理されました。

(3) 教育環境の整備

①ネイティブスピーカーの教員による英語教育の充実

学生の授業への満足度が高かったため、2018年度から保健看護学科、作業療法学科で開講しているネイティブスピーカーによる授業を、2年生でも導入し、英語教育を強化しました。

②作業療法学科

作業療法学科で2019年度より計画していた2週間の海外研修（台湾短期留学実習）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止としました。

③臨床検査学科

学生にとってより魅力的な教育を行うため、遺伝子検査実習機器を導入し、細胞検査士養成(10人)の教育を開始するための準備を行いました。

④その他、必要な教材等を購入するなど、教育環境のより一層の充実を図りました。

(4) 3つのポリシーの見直し

本学は、大学全体・各学部・各学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めてホームページ等により公表していますが、学外の視点による点検・評価も取り入れて、必要に応じて見直しを行いました。また、大学院の3つのポリシーについて、法令改正に伴う見直しを行いました。

(5) 学修成果発表会の開催

2019年9月6日（金）に、学生主体の学修成果の発表により個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として、「第5回学修成果発表会」を開催しました。夏休み中から準備をする学生が多く見られるなど、学生の学修意欲を感じる機会となっており、シンポジウム5題、講演発表21題、参加者430名でした。また、学修成果発表会終了後に、教員及び学生にアンケートを行って検証し、実施内容の改善を行いました。

(6) 学生サービス

①昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生や関西医療学園奨学生を選出しました。

②学生増に対応して、通学バスのダイヤを見直すなどの対策を講じて、通学の利便性を確保しました。

(7) 進路支援

学生の進路指導については、各学科の進路個人面談を行ったほか、キャリア支援イベントとして「合同就職説明会」（看護学科除く）、面接のマナー（模擬面談）講習やコミュニケーション研修な

どの「キャリア教育」、「卒業生と語る会」、「特別講義」等を開催しました。

また、臨床検査学科については、過去3年間の卒業生の進路状況を基に学科教員とキャリア支援課が連携して、病院、検査センターやCRC（治験コーディネーター）の企業など多岐にわたった求人開拓を行いました。

全学的には、本学学生が就職した実習施設を中心に近隣の病院及び施術所をキャリア支援課職員が訪問して、卒業生の勤務状況などを確認するなど、本学知名度の向上を含めたフォローアップを行いました。

近年、就職活動が早期化している保健看護学科の学生を対象とした「合同就職説明会」および年度末に開催していたキャリア支援イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。

(8) 在学生のモチベーションアップ講演会の開催

前年度に引き続き、4月4日（木）の入学式終了後に、新入生を対象として、学生の勉学や就職へのモチベーションを高めるため、「人間力」についての特別講義を開催しました。また、2016年度から行っている保護者説明会を、2019年度もこの講演会の時間に開催しました。

(9) 研究

研究ユニットの構成については、各研究分野の多様性、所属教員数の変動ならびに新学科設置を加味して再構築され、共同研究推進委員会がこれを統括し現在は13ユニットで活動しています。

また、産学協同研究については、企業との適切な連携の在り方（知的財産権、資金運用、利益相反など）が産学連携委員会で審議され、契約の履行についても指導・管理を行っています。

平成27年度より、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しており、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、3月に予定していた研究倫理・研究不正防止コンプライアンス教育研修会の開催を中止し、特例措置として配布資料を基に各自で研究倫理および研究不正防止コンプライアンスに関する研修を行いました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

(10) 施設・設備の整備・補修等

以下のとおり、施設・設備の整備・補修等を行いました。

- ①グラウンド人工芝の更新工事
- ②老朽化したプロジェクターの更新
- ③体育館トレーニング機器の更新
- ④教室用机と椅子の整備
- ⑤印刷機の更新
- ⑥管理棟・1号館・2号館軒桶等防水更新工事
- ⑦管理棟、1号館、2号館、3号館、体育館 サムターン錠設置工事
- ⑧管理棟、1号館、3号館 フロアヒンジ取替工事
- ⑨1号館1階2階廊下等の壁・天井および扉 塗装等補修工事
- ⑩1号館1階事務室ロールカーテン設置工事
- ⑪1号館1階事務室バルコニー防水更新工事
- ⑫1号館1階事務室設置のアンプ交換工事
- ⑬1号館2階226実技室 屋根補修工事
- ⑭1号館 雨水樋の更新工事

- ⑮1号館、2号館、診療・研究棟のクラック等補修工事
- ⑯2号館屋上トップライト漏水補修工事
- ⑰2号館、5号館 漏水補修工事
- ⑱4号館1階 庇幕板補修工事
- ⑲敷地内の雨水桝、配管等清掃工事

(11) 自己点検・評価

前年度に引き続き、「関西医療大学中期目標・中期計画に係るアクションプラン年次進捗状況の点検・評価報告書」を作成し、各部署における1年間の活動について点検・評価を行います。

また、令和5年度に日本高等教育評価機構の認証評価(第三サイクル)を受審予定であるため、新評価システムに対応した自己点検・評価体制を構築していきます。さらに、令和2年度に自己点検評価書の作成と公表を行うため、令和元年度にエビデンスとデータの取りまとめを行いました。

例年実施している教員自身による教員活動の調査(自己点検・評価)は、平成30年度実施分より新様式の調査票(「教員活動に係る自己評価調査票」)を用いて実施しました。

(11) FD・SD活動等

ア. FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価を行い、また、改善点について、検討を行いました。

- ①学内講師の講演会の開催
- ②授業評価アンケートの実施
- ③学外研修会への参加
- ④初任者研修会の開催

イ. SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指せるように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月に予定していた研修会の開催を中止しました。

(12) 地域貢献・社会貢献・地域連携

ア. 公開講座の開催

令和元年度は、メインテーマを「未病から先がけの医療へー作業することと健康ー」とし、令和元年10月19日(土)に公開講座を開催し、78名の参加がありました。

外部より講師を招き、「作業療法」に関する講演およびシンポジウムを行いました。

イ. 熊取町との連携

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任

- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設
- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「熊取ゆうゆう大学 大学連携講座」「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力

ウ. 国際協力機構からの研修生の受け入れ

本年度は、独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」の短期コース研修生1名（ブラジル）を受け入れました。

(13) 大学ポートレートへの参加

前年度に引き続き、日本私立学校振興・共済事業団が運営する大学ポートレートへ参加して、本学の学びの特徴、学生生活、就職・進路状況、その他の基本情報について、社会に向けた積極的な情報発信を行っています。

(14) IR（Institutional Research）活動への取組み

学長の指示のもと、IR推進室が中心となり、GPA（Grade Point Average）等を利用したデータを作成し、本学における教育・研究及び業務運営の向上に資する学内の情報を分析して、退学者、休学者を減らすための対策を始め、学内における協議や検討に有益となる情報発信を行う取組みを強化しました。

(15) アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、不断の点検と改善の取組みを行っています。これを計画的に実行していくために、平成28年度に受審した第三者機関による機関別認証評価に伴い本学の中期目標・中期計画を策定し、それを実現するための具体的な年次計画として「関西医療大学 中期目標・中期計画に係るアクションプラン」を定めてフォローアップを行いました。

なお、令和2年度4月に改正される私立学校法の定めにより、従来のアクションプランを「学校法人関西医療学園中期計画＜2020年度～2024年度＞」に発展させて新たに決めました。

(16) 大学ガバナンス・コードの策定

令和2年度4月における私立学校法の改正に伴い、本学園が法令遵守に基づく健全な大学運営を行うため、本学園の寄付行為を含む学内規則に基づくガバナンス体制を体系的に整理して、大学のガバナンスの改善と強化を図る行動規範とする「関西医療大学ガバナンス・コード」を新たに策定しました。

(17) 高等教育の修学支援新制度への対応

2020年4月から新たに導入される高等教育修学支援新制度に向けて、対象大学となるための機関要件を整備し、確認申請を行った結果、対象校に認定されたことが9月20日に公表されました。

(18) 教員の教育面における評価

教員の教育面について評価を行う仕組みを新たに整備して、学生による授業満足度調査結果等に基づき、教員評価委員会が評価を行う取組みを開始しました。

(19) 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年2月以降、大阪府下において新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化してきたことを受けて2月中に1回、3月中に3回の危機管理委員会を開催し、政府並びに新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言に基づき、卒業式、入学式、春のオープンキャンパス等のイベント開催の中止のほか、学生と教職員の感染予防対策並びに令和2年度の授業実施に関する方針の策定と具体的な対応等について検討しました。

3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として、重要な役割を果たしています。

令和元年度も引き続き、附属保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションと附属保健医療施設として、日常的な医療機関の連携の確立をめざしました。

(1) 附属診療所の運営

2014年に開設した通所リハビリテーションの実施により、維持期リハビリテーション体制の構築、学生の臨床実習において、当附属診療所で医療・介護ともに実施できる環境下にあり、介護保険事業参入により、利用者数の増加に努めました。なお、医療機器の老朽化に伴い、診療体制に見合う診断・検査機器の見直しと整備を進め、地域基幹病院と連携強化を図り、当附属診療所として持っている特有の機能を十分発揮し、紹介や逆紹介、近隣開業医からのMRI・CT撮影の外部オーダー増件等、その役割を有効利用し、地域医療の貢献、患者数増に努めました。

(2) 附属鍼灸治療所の運営

附属鍼灸治療所は、外部PR活動に努め、患者増を図りました。また、近隣にも出張講義等を開催することで地域と取組み、本学附属診療所各科とも連帯をより一層深め、増患対策に努めました。

また、前年度に引き続き、若年層患者の増患対策を目的として、Facebook、LINE、Instagram等でWebを中心としたマルチメディアへの露出度を高めました。

(3) 附属接骨院の運営

附属接骨院は、院内での施術、アロマセラピー、運動指導及び院外での運動教室を充実・強化し、附属診療所・附属鍼灸治療所と連携することにより、患者数の増加を図りました。

また、外部PR活動の一環として外部へも出張指導することにより、積極的に広報、啓蒙活動に取り組みました。

(4) 危機管理体制の充実・強化

毎月、感染対策委員会・医療安全管理委員会を開催しており、感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました。

(5) 広報活動の推進

令和元年度も引き続き、広報活動の費用対効果を考慮し、附属保健医療施設として効果のある広告へとシフトし、より認知度を図りました。

ア. 地域情報誌等へのPR

イ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民へのPR

ウ. ホームページ委員会と連携し、より充実した内容に更新

エ. 運動教室・公開講座参加者等へのPR

オ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携

カ. 介護支援事業者等へのリーフレットPR

キ. Facebook、LINE、Instagram等でWebによるPR

4. 専門学校

(1) 将来構想の検討

今後の学生募集の見通しを検討した結果、夜間部（東洋医療鍼灸学科及び柔道整復学科）について令和2年度入学生の募集を停止することとしました。また、これに伴う昼間部学科の再編及び新学科設置について、法人及び専門学校の将来構想検討委員会において検討を行いました。

(2) 自己点検・評価の実施と公表

ア. 自己点検・評価

自己点検・評価委員会において、平成30年度の点検評価を行うため、小委員会を組織して評価をまとめ、ホームページに公表しました。

イ. 第三者評価の受審

理学療法学科では、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による認定更新のため、同機構による実地調査（令和元年12月10日）を受審しました。

(3) FD・SD研修及びその他の研修活動等

ア. FD・SD研修会

ア) 学科別FD研修

理学療法学科「理学療法臨床実習指導者講習について」

令和元年10月5日（土曜）10:30～12:00（講師 弓永久哲 臨床教育部長）

東洋医療（鍼灸）学科及び柔道整復学科は、3月に研修を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の時期であることを考慮し、開催を中止しました。

イ) 事務職SD研修

「専門学校学務・総務関係業務」

令和元年8月1日（木曜）9:00～10:00（講師 浅井秀樹 学務課員）

ウ) ハラスメント防止研修

「職場のハラスメントと人権基礎研修」

令和元年7月6日（土曜）10:00～11:00

（講師 大阪企業人権協議会サポートセンター講師 堀井 悟 先生）

イ. 学校協会教員研修会

- ア) 東洋療法学校協会教員研修会参加 (令和元年 8 月 6 日～ 7 日・静岡)
- イ) 柔道整復学校協会教員研修会参加 (令和元年 8 月 24 日～25 日・宮城)
- ウ) 全国リハ学校協会教員研修会発表・参加 (令和元年 8 月 29 日～ 30 日・愛知)

ウ. 教育講演会

新入生・教職員 「人生を成功へ導く人間力」 平成 31 年 4 月 6 日 (土曜) 14:30～16:00
在校生・教職員 「人間力の錬磨／コミュニケーションスキルの要諦」 平成 31 年 4 月 7 日
(日曜) 10:30～14:30
(講師 一般財団法人日本教育推進財団会長 坂東弘康 先生)

エ. 臨床研修等

専任教員については、養成教育に還元することを目的として、医療機関及び教育研究機関等において臨床研修・研究を行いました。

オ. その他

- ア) 高大接続改革対応特別委員会の活動報告及び専門学校入試のあり方説明会参加
(平成 31 年 4 月 22 日 (月曜) 14:00～17:00 開催・大阪)
- イ) 高等教育の修学支援制度に係る説明会参加
(令和元年 6 月 7 日 (金曜) 10:30～12:00 開催・大阪)
(令和元年 10 月 17 日 (木曜) 13:00～17:00 開催・大阪)
- ウ) 教育展・教育セミナー参加
(令和元年 9 月 27 日 (金曜) 11:45～12:30 開催・大阪)
- エ) 日本学生支援機構新給付奨学金制度研修会参加
(令和元年 10 月 18 日 (金曜) 10:30～11:45 開催・大阪)

(4) 学生支援に係る取り組み

ア. 奨学金の給付・学費の減免

- ア) 特待生奨学金による学費減免
- イ) 柔道給付奨学金

イ. 入学前教育の実施

入学手続者について、入学前の不安を解消し、学習方法等の説明や専門分野に興味をもたせるような事前学習を案内することにより、安心して学生生活に進むことができるようにプレスクールを開催しました。(令和 2 年 2 月)

ウ. 保護者会の開催

理学療法学科では入学式終了後に保護者懇談会を開催し、学生の修学支援を共通した認識で行うことができるよう保護者との相互理解を図りました。

(5) 学務基幹業務システムの導入・運用

学務事務の基幹業務システムについて、運用を開始しました。また図書室の新システムについても別途調整を行いました。

(6) 施設設備の整備

本館・別館両校舎の非常用照明器具の取替工事を行いました。また大阪市から要請のあった本館校舎西角の樹木の伐採を行いました。

(7) 養成施設定期指導調査

東洋医療鍼灸学科及び柔道整復学科について、行政庁による定期指導調査（令和元年9月5日）が実施され、文書による指導事項はありませんでした。

(8) 行政庁への申請・届出

ア. 学則変更届（夜間部募集停止）

イ. 理学療法士養成施設に係る変更承認申請（教育課程・校舎用途・臨床実習施設の変更）

5. 令和2年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考
関西医療大学	保健医療学部（250名）	1,786名	256名	
	保健看護学部（90名）	945名	93名	
	小計（340名）	2,731名	349名	
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	8名	8名	
	合計（349名）	2,739名	357名	
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科（30名）	83名	30名	
	東洋医療鍼灸学科（30名）	37名	26名	
	柔道整復学科（60名）	30名	28名	
	理学療法学科（40名）	55名	41名	
	合計（220名）	205名	125名	
総計（569名）		2,944名	482名	

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

※令和2年度より関西医療学園専門学校 東洋医療鍼灸学科夜間部、柔道整復学科夜間部の学生募集を停止しました。

6. 令和元年度 資格試験の合格者状況

学校名		資格	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	はり師	43名	28名	26名	92.3%
		きゅう師			26名	92.3%
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	63名	63名	62名	98.4%
	保健医療学部 ヘルスポモーション整復学科	柔道整復師	30名	23名	23名	100.0%
	保健医療学部 臨床検査学科	臨床検査技師	55名	46名	44名	95.7%
	保健看護学部 保健看護学科	看護師	98名	98名	94名	95.9%
		保健師			15名	100.0%
助産師		5名			100.0%	
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	31名	31名	31名	100.0%
		はり師			26名	83.9%
		きゅう師			27名	87.1%
	東洋医療鍼灸学科	はり師	44名	41名	34名	82.9%
		きゅう師			34名	82.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	28名	25名	16名	64.0%
理学療法学科	理学療法士	34名	34名	30名	88.2%	